

ネイチャー・ウォーク

平成 25 年 12 月号
2013. . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

青い木と古い木 年齢性別の違う生きものが

(青息吐息) 松戸市の関さんの森周辺を散策

(JR 馬橋駅～JR 新松戸駅)



前回は台風のため中止だったネイチャーウォーク。

今回は久しぶりに快晴の元、29人の参加者が集まりました。

今回は、埼玉県より出て、千葉県の新松戸市を歩きます。「21世紀の森と広場」と「関さんの森」という街中に残る自然を歩くコースです。

道中で、道祖神(右の写真の右側)と庚申塔(右の写真の真ん中及び左側)を発見。庚申塔には、江戸時代(徳川綱吉の時代の元禄年間)の年号が彫られていました。

江戸時代からある古い庚申塔の隣に、新しく作られた庚申塔が並んで立っているのがとても不思議でした。





元禄まつど村入り口



かぼちゃで作られた似顔絵たち

スタートの馬橋駅を出て、見つけたのは、元禄まつど村という珍スポット。
たくさんの似顔絵かぼちゃやひょうたんで作られたアートが展示されていました。非常にインパクトのある内容に、「これ本当にかぼちゃなの？」と驚きの声もあがっていました。総理大臣にも送っているとのことでした。

古民具資料館も併設されていて、所狭しと展示されているさまざまな物品にみんな驚きを隠せないようでした。



「21世紀の森と広場」に到着

「21世紀の森と広場」に到着。東京ドーム11個分もある広い公園です。今回はここで約2時間の自由行動です。

公園の中では、忍者の格好やら、青や赤色の髪の毛の方など、特徴的な格好の方がたくさんいて、撮影会を行っていました。

これはアニメや漫画と同じ格好をするコスプレというもの。驚いた方も多かったようです。

松戸市周辺では時々、コスプレについてのイベントが開かれているそうです。

お昼休みのあと、自然観察館にて観察会。なんとそこで、オオタカを発見。公園の自然の豊かさを感じさせます。自然観察館には、オオタカの剥製（公園内で死亡後剥製にしたもの）も展示されており、その剥製と見比べながら、オオタカの特徴についての話題で盛り上がりました。



展示されていたオオタカの剥製



続いて「関さんの森」に到着。この「関さんの森」は、都市に残された貴重な里山的空間です。かつて、この「関さんの森」を分断する道路建設計画がもちあがりました。それに対し、多くの市民の皆さまからの自然を守りたいという声が集まったことなどもあり、結果として森林を迂回する形で道路建設が決まった経緯があります。



樹齢 200 年を超えるケンポナシを見学。このケンポナシは地域のシンボルとも言える存在の木で、天然記念物級とも言われます。迂回道路の予定地に生えていたため、現在の場所に移植されたものです。過去に落雷に遭って、中心部が焼けてもなお生き残り、芽を出しています。自然の力強さを教えてくれるような気がします。下に落ちていた枝を拾い、実がついている柄の部分をかじってみると、甘い、梨のような味がしました。

関さんより、貴重なお話を頂けました。貴重な森を道路開発から守るために大変な苦勞をされたこと、もともとタヌキやフクロウが棲む場所であったのに、道路開通後はフクロウがいなくなってしまったこと、今また、ずっと生えている木を伐採して公園を作ろうとしている計画が持ち上がっていること、などなど。

みんな、熱心に聞き入っていました。

自然は一度失われると二度と取り戻せません。たくさんの生きものが棲む貴重な森をいつまでも守っていきたいですね。

